

令和2年12月1日

建設現場における遠隔臨場の試行開始について

福岡市では、建設現場における働き方改革推進のため、さまざまな取り組みを実施しています。その取り組みの一つとして、令和2年12月1日から、公共工事の建設現場における遠隔臨場をスタートいたします。

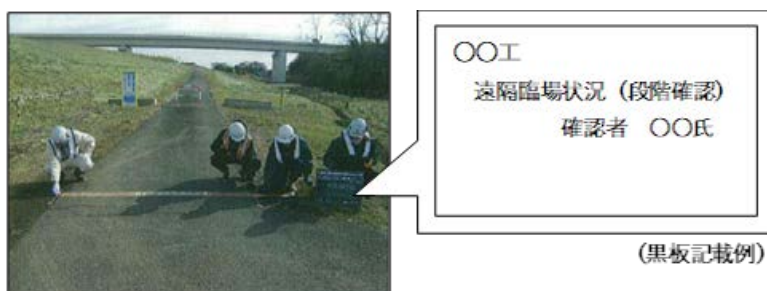
○公共工事では、職員が工事中の建設現場に出向き、さまざまな立会や確認を行っております。施工段階で職員による確認が必要となる、「段階確認」「材料確認」「立会」を、建設現場と事務所をモバイル端末等でリアルタイムにつなぎ、遠隔で行います。

○対象工事はすべての土木工事とし、受注者の希望に応じ、実施するかどうかを受発注者で協議し決定します。

○これにより、現地確認等にかかる時間が大幅に削減され、生産性の向上が期待できます。

○機器等については、受注者・発注者がそれぞれ準備します。

○実施の確認として、受注者が遠隔臨場の状況写真を撮影し、監督職員に提出します。



○インセンティブとして、遠隔臨場が実施できた場合、工事成績評定にて加点します。

福岡市財政局技術監理部検査課
土木検査第1係 711-4191